

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-20 農業振興運営事業 □支 援 部 門						
主管課	産業振興課		関連課				
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	市民生活と密着した都市農業の振興						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	6,845	8,965	9,937			
	(国・県)	8					
	(負担金等)	0		1,550			
	(一般財源)	6,837	8,965	8,387			
	人員配置数	2.1	1.6	1.5			
	人 件 費(千円)	17,189	14,278	13,736			
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	24,034					
	市民1人当 りの経費(円)	136	134	143			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
遊休農地解消面積 (耕作放棄地全体調査)	△	目標値	3.7ha	3.3ha	6.7ha	6.5ha	6.2ha
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	3.5ha	3.2ha	6.7ha	7.5ha	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)				⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止							
農業振興運営事業	6,845千円	①効率性	☐	②妥当性	☐	③有効性	☐	④公平性	☐	⇒	☐ A	☒ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要	農業振興協議会を2回開催し、第2期報告書を取りまとめた。また農産物等ブランド事業については、ブランドマークの管理運用の協議を継続し、水産物のブランド化について漁業協同組合と意見交換を行った。今後の地域農業振興に対する支援のために、JAと連携し、「人・農地プラン」概要の取りまとめや農地相談会を開催した。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	農業振興協議会から提案された施策や、地域の農業の将来像の計画である「人・農地プラン」策定作業を着実に進める。また、遊休農地の解消に向け、引き続き努める。		
課題解決のための取組	農業振興協議会から担い手育成などの新たな施策の提案を受けた。地域農業振興のための「人・農地プラン」づくりに向け、JAと協議を行い、その概要について取りまとめた。	取組の結果	■解決 □未解決
未解決の課題	農業者、JA及び農業委員会と連携し「人・農地プラン」を平成25年度中に策定する。遊休農地調査に基づき、土地所有者毎の解消策を検討する必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切＝○ 要改善＝△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 本市の限られた農地を有効活用するため、農業者、関係団体と連携を図り、農業振興協議会からの提案を基に、都市農業としての特徴を活かした本市の農業振興を着実に進めていく。	↓ B	※□事業完了
		②妥当性 ○				課長等名
		③有効性 ○				産業振興課長
		④公平性 ○				加藤 博

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
農業振興運営事業	主な個別事業	349 臨時的任用職員賃金	720	665	○	○	○	○
		349 鎌倉市農業振興協議会委員報償費	144	102	○	○	○	○
		350 鎌倉ブランド堆肥パッキング等委託料	2,310	0	○	○	○	○
		349 秋の収穫まつり等委託料	520	520	○	○	○	○
		349 農業関係団体負担金	206	198	○	○	○	○
		349 農業振興事業費補助金	2,500	2,500	○	○	○	○
		349 鎌倉青果地方卸売市場活性化事業費補助金	1,691	1,100	○	○	○	○
		349 鎌倉青果地方卸売市場集荷奨励事業費補助金	1,278	1,098	○	○	○	○
		349 鎌倉市野菜生産出荷奨励事業費補助金	556	542	○	○	○	○
		349 鎌倉市農業経営基盤強化資金利子助成金	0	27	○	○	○	○
		349 鎌倉市環境保全型農業直接支援支払対策事業交付金	0	15	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							